

趣 旨

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて建設投資は増大し、道路、鉄道等のインフラの整備、大規模公共施設や宿泊施設等の建設が着々と進んでいます。コンクリート構造物もその主役として数多く建設されています。多くの人々が日本を訪れ、楽しみ、オリンピック会場では熱戦が繰り広げられることでしょう。

その一方で、前回(1964年)の東京オリンピックが開催された当時、高度経済成長期に建設された大量のインフラストックが老朽化や更新の時期を迎えようとしています。人間で言えば中年から老年へと差し掛かったコンクリート構造物ですが、まだまだ現役で頑張らなければなりません。コンクリート構造物は時代を超えて、多世代にわたって使われていくものであるからです。

コンクリート構造物の調査や診断は、しばしば人間の医療行為に例えられます。定期的な健康診断で病気の早期発見に努め、病気の疑いがあれば精密検査を受けます。また、歳を重ねてくると、定期的に人間ドックを受けて詳細な検査をする必要があります。そして、これらの検査はできるかぎり非侵襲的であることが望まれます。コンクリート構造物は、丈夫で長持ちする構造物として建設されてきましたが、その健康を維持するためには定期的な検査や詳細な診断、そしてその結果に応じた対策が必要不可欠です。人間が50歳を超えても益々の活躍が求められるように、コンクリート構造物もこれから使われ続けることが求められている時代と言えるのではないでしょうか。

また、世の中では、社会保障費の削減が求められ、特に高齢者の医療費の抑制策が大きな社会問題になっています。この点についても人間とコンクリート構造物は同じような状況にあると言えます。

インフラストックの維持管理に必要な費用は益々大きくなることが予想されていますが、これらの抑制のためにも、効果的で効率的な点検、診断が重要です。コンクリート構造物を長く使うため、また長く使われ続ける社会であるために、非破壊検査が貢献できることは少なくないのではないでしょうか。

以上のような状況を鑑み、このたび、本シンポジウムを「コンクリート構造物を使い続けるために～非破壊検査の貢献～」と題し、論文・報告、特別講演、パネルディスカッション、維持管理技術展示(実演・ビデオ・模型・パネル等による紹介)などの幅広い内容で、技術者・研究者・試験機メーカー等の広い分野の方々、また、学識研究者から学生までの幅広い年代からの参加者が活発に情報交換を行えるように、第6回シンポジウムを開催することになりました。

分野・年齢を問わず、関連する方々の多数のご参加・ご応募を期待しています。

※本シンポジウムをCPD対象プログラムとして申請する予定です。

シンポジウム開催に至るこれまでの経緯

- 1989年「鉄筋コンクリート特別研究委員会」を設置
産学官および公的機関の研究者、検査の実務に携わる技術者、試験機器メーカーの技術者等の委員によるコンクリート構造物に関する非破壊試験および検査技術に関する研究体制がスタート。
- 2003年「第1回 非破壊検査シンポジウム」を開催
非破壊検査機器・技術とコンクリート構造物に関わる技術者・研究者が、技術の現状と動向あるいはニーズとシーズに関する情報交換が行えるように「コンクリート構造物の非破壊検査への期待」と題し開催。
- 2006年「コンクリート構造物への非破壊検査の展開」と題し「第2回 非破壊検査シンポジウム」を開催。
- 2009年「コンクリート構造物の非破壊検査」と題し「第3回 非破壊検査シンポジウム」を開催。
- 2012年「成熟社会におけるコンクリート構造物の非破壊検査の役割」と題し「第4回 非破壊検査シンポジウム」を開催。
- 2015年「非破壊検査が担うコンクリート構造物の調査・点検技術の高度化・効率化」と題し「第5回 非破壊検査シンポジウム」を開催。

会場案内(予定)

会 場：芝浦工業大学(豊洲キャンパス)

所 在 地：東京都江東区豊洲3-7-5

アクセス：有楽町線豊洲駅 10 または 3番出口から徒歩7分

JR 京葉線 越中島駅 2番 出口から徒歩15分



JANDI

第6回 コンクリート構造物の非破壊検査シンポジウム コンクリート構造物を使い続けるために

— 非破壊検査の貢献 —

2018年8月2日(木)～3日(金)

開催地：芝浦工業大学豊洲キャンパス(予定)

論文募集・維持管理技術展の展示募集など
(第1回案内)

展示募集締切	2017年11月30日(木)
アブストラクト申込締切	2018年1月31日(水)
審査有り論文原稿締切	2018年3月30日(金)
審査無し論文・報告原稿締切	2018年5月31日(木)

主催：(一社)日本非破壊検査協会
協賛：(国研)建築研究所、(国研)土木研究所、(公社)日本コンクリート工学会、(公社)土木学会、(一社)日本建築学会、(公社)日本材料学会、(一社)日本マンション学会、(公社)腐食防食学会、(公社)日本鉄筋継手協会、(一社)セメント協会、(一社)日本非破壊検査工業会、(一社)ITECS技術協会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)日本赤外線サーモグラフィ協会、(一社)セメント協会、(一財)建築保全センター、(一財)土木研究センター、(一財)建材試験センター、日本建築工学会、(一財)日本建築総合試験所、全国生コンクリート工業組合連合会

論文募集

コンクリート構造物の非破壊検査に関する論文・報告を広く募集します。対象は練り混ぜられた後のコンクリート、関連する材料・工事、およびそれらに関連した検査技術としています。したがって、単位水量推定や打込み中の検査、打込み直後の欠陥、凝結硬化過程における変化をはじめ、硬化後のコンクリートおよびコンクリート部材の物性評価、構造物の検査・調査・診断、モニタリング手法などのほか、仕上材、鋼材腐食、継手等の検査なども対象となります。検査の手法は、非破壊試験のほか、局部破壊（微破壊）試験も対象とします。

また、構造物の調査・診断や維持管理のため支援技術（ICT や BIM・CIM の活用・連携、ストックマネジメント技術など）、実構造物の調査事例や新技術の適用事例なども対象とします。

申込み資格は特に問いませんが、発表者・連名者含めて原則 5 名以内とします。講演者（登壇者）1 人につき複数題ご発表いただくことも可能です。

募集する論文・報告は以下の 3 種類です。また、英文での投稿・発表も受け付けます。

審査有り論文：非破壊検査、維持管理等に関連する未発表の内容もしくは既発表の内容に新たな知見を加えた内容で、学術論文として相応しいもの。

審査無し論文：非破壊検査、維持管理等に関連する未発表の内容で審査を希望しないもの、もしくは既発表の内容をとりまとめたもの。

審査無し報告：調査事例、新技術の適用など、非破壊検査、維持管理に関する有益な情報をとりまとめたもの。

維持管理技術展への展示募集

維持管理技術展と称し、非破壊検査機器の紹介を含め補修・補強技術、可視化ソリューション技術、モニタリング（計測）技術、維持管理支援システムなど維持管理に関する技術展示を広く募集することになりました。

ただし、展示会場の関係から大型機器・重量物・危険物等についてはお断りすることがございます。展示場所等の詳細につきましてはお申し込み後にご連絡させていただきます。

展示費用は、民間企業：60,000 円、学協会等：30,000 円です。

論文・展示（維持管理技術展）の申込方法

応募する論文・報告は、日本非破壊検査協会 WEB ページにてお申し込み下さい。展示（維持管理技術展）は、日本非破壊検査協会 HP から所定の申込用紙をダウンロードして、下記の間合せ先へメールまたは FAX にてお申し込み下さい。申込み締切りは、論文・報告は 2018 年 1 月 31 日（水）、展示は 2017 年 11 月 30 日（木）とします。

審査有り論文は、6・8・10 ページのいずれかとし、原稿の提出締切日は 2018 年 3 月 31 日（土）を、審査無し論文・報告は、4・6・8 ページのいずれかとし、原稿の提出締切日は 2018 年 5 月 31 日（木）を予定しています。

詳細は、ホームページ（<http://www.jsndi.jp>）に掲載いたします。

【新進賞について】

シンポジウム期日以内に満 30 歳以下の登壇者は新進賞の選考対象となります。授賞対象者は、当協会正会員（個人会員、団体会員）の登録者）及び学生会員であり、非会員については、後日会員になることが条件です。ただし、既受賞者は対象外（学術関連の他賞を含む）です。

シンポジウム参加費

JSNDI 会員及び登壇者	10,000 円
一般	12,000 円
学生	3,000 円
懇親会費	3,000 円

お問合せ先

〒136-0071

東京都江東区亀戸 2-25-14 立花アネックスビル 10 階

（一社）日本非破壊検査協会 学術課 蒲生 康一

E-mail : gamou@jsndi.or.jp

WEBアドレス : <https://www.jsndi.or.jp/gaku/sak/sak00.do?gaku=49>

TEL : 03-5609-4015

FAX : 03-5609-4061



委員会

組織委員会

委員長：
湯浅 昇 / 日本大学

委員：

阿部 道彦 / 工学院大学	池永 博威 / 千葉工業大学
今本 啓一 / 東京理科大学	大下 英吉 / 中央大学
大津 政康 / 京都大学	勝木 太 / 芝浦工業大学
鎌田 敏郎 / 大阪大学	小井戸純司 / 日本大学
阪上 隆英 / 神戸大学	塩谷 智基 / 京都大学
竹中 克己 / 非破壊検査（株）	谷川 恭雄 / 名古屋大学
月永 洋一 / 八戸工業大学	辻 正哲 / ものづくり大学
鳥取 誠一 / (株)ジェイアール総研エンジニアリング	
中田 善久 / 日本大学	
二羽淳一郎 / 東京工業大学	野口 貴文 / 東京大学
野崎 喜嗣 / 関東学院大学	畑中 重光 / 三重大学
濱崎 仁 / 芝浦工業大学	久田 真 / 東北大学
細田 暁 / 横浜国立大学	森濱 和正 / ものづくり大学
柳内 睦人 / 日本大学	渡辺 健 / 徳島大学

実行委員会

委員長：

濱崎 仁 / 芝浦工業大学

副委員長：

澤本 武博 / ものづくり大学

幹事：

伊代田岳史 / 芝浦工業大学 岩野 聡史 / リック㈱

大野健太郎 / 首都大学東京

田代 秀夫 / (一社) 日本非破壊検査工業会

中田 善久 / 日本大学

委員：

青木 優介 / 木更津工業高等専門学校	内田 慎哉 / 立命館大学
江里口 玲 / 太平洋セメント（株）	太田 達見 / 清水建設（株）
笠井 浩 / 鹿島建設（株）	門 万寿男 / OSMOS 技術協会
川俣 孝治 / (株) 中研コンサルタント	北川 真也 / 佐藤工業（株）
蔵重 勲 / (一財) 電力中央研究所	佐藤 大輔 / (株) コンステック
佐藤 忠 / 日本無線（株）	須藤 絵美 / (株) 内山アドバンス
辻 和幸 / ユキクリエーション	中山 聡子 / (株) 保全工学研究所
野中 英 / (株) 熊谷組	
嶋 晴行 / (一社) 日本非破壊検査工業会	
原田 七瀬 / (一財) 建材試験センター	
春畑 仁一 / (一財) 日本建築総合試験所	
福山 智子 / 北海道大学	松沢 晃一 / (国研) 建築研究所
吉沢 勝 / (一財) 首都高速道路技術センター	
渡邊 悟士 / 大成建設（株）	

論文審査委員会

委員長：

勝木 太 / 芝浦工業大学

幹事：

内田 慎哉 / 立命館大学 大野健太郎 / 首都大学東京

小林 幸一 / (一社) セメント協会 澤本 武博 / ものづくり大学

委員：

青木 優介 / 木更津工業高等専門学校	大下 英吉 / 中央大学
兼松 学 / 東京理科大学	鎌田 敏郎 / 大阪大学
小井戸純司 / 日本大学	古賀 裕久 / (国研) 土木研究所
小山 智幸 / 九州大学	阪上 隆英 / 神戸大学
田村 雅紀 / 工学院大学	
西脇 清晴 / (一財) 建材試験センター	
福山 智子 / 北海道大学	細田 暁 / 横浜国立大学
渡辺 健 / 徳島大学	